

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 11 巻第 14 号

第 14 週(4月 4日 ~ 4月10日)

発行年月日:平成23年(2011年) 4月13日

発行:滋賀県衛生科学センター内

滋賀県感染症情報センター

電話:077-537-7438 FAX:077-537-5548

今週の感染症発生動向

インフルエンザは、先週の2/3に減少

一類～五類全数報告感染症の発生状況(第14週)

- ・一類感染症---報告はありません
- ・二類感染症---**結核 3名**
- ・三類感染症---報告はありません
- ・四類感染症---報告はありません
- ・五類感染症---報告はありません

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)

下記グラフに示す18疾患の患者報告数は、先週(934名)よりさらに減少し、今週は715名となっています。特に、インフルエンザで大幅に減少し、全ての保健所管内の定点当たり患者数は10.00未満となり、警報および注意報発生基準値未満となっています。

今週、増加した疾患はRSウイルス感染症、水痘、手足口病および突発性発しん、他の疾患は、横ばいまたは減少となっています(週別発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

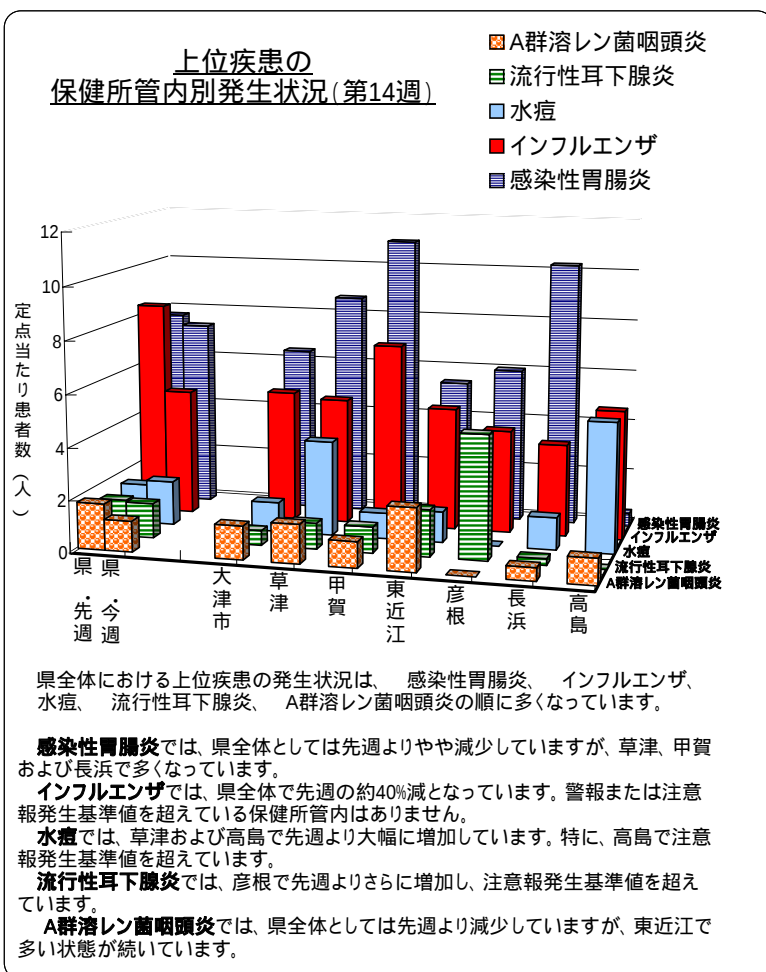
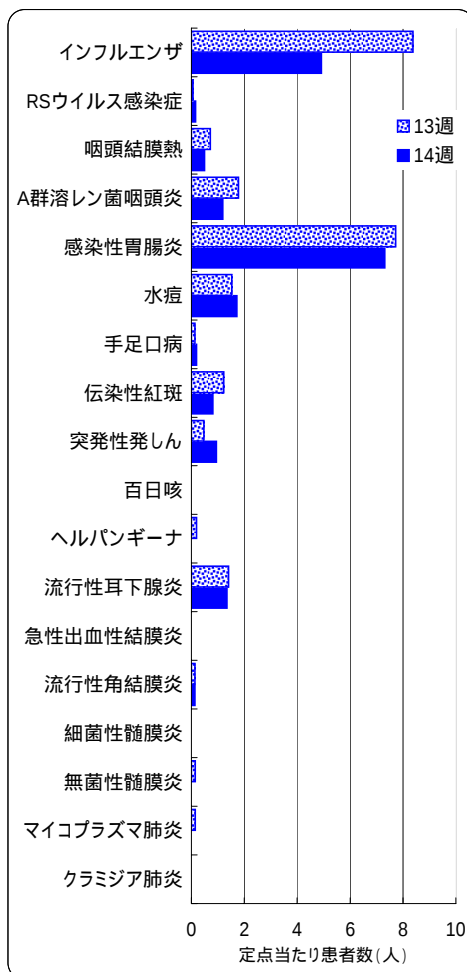
「感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム」によると、注意報の発生基準値を超えている疾患および保健所管内は以下のとおりです。

注意報---- 水痘(注意報発生基準値 4.00)

流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)(注意報発生基準値 3.00)

高島保健所管内

彦根保健所管内



1. 全数報告感染症(一類～五類)の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は、保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症等を把握することができます。

感 染 症 類 型	疾 患 名	平成23年 累積報告数		平成22年 累積報告数 ^(※1)		平成21年 累積報告数 ^(※2)	
		滋賀 (14週)	全 国 ^(※3) (13週 ^注)	滋賀	全 国 ^(※3)	滋賀	全 国 ^(※3)
一 類 感 染 症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二 類 感 染 症	結核	83	6,307	252	26,704	256	26,932
三 類 感 染 症	コレラ	0	1	0	11	1	16
	細菌性赤痢	2	58	2	235	0	180
	腸管出血性大腸菌感染症	0	180	66	4,131	27	3,886
	パラチフス	0	8	1	21	0	27
四 類 感 染 症	E型肝炎	0	16	0	66	1	56
	A型肝炎	0	94	3	346	0	115
	オウム病	0	7	1	11	0	21
	つつが虫病	0	41	2	406	0	465
	デング熱	1	28	2	245	0	93
	マラリア	0	11	0	76	0	56
	レジオネラ症	3	122	10	751	8	712
五 類 感 染 症	アメーバ赤痢	1	169	7	845	10	783
	ウイルス性肝炎	1	61	3	222	3	220
	急性脳炎	0	92	1	241	8	526
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	26	2	171	2	141
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	58	3	127	2	105
	後天性免疫不全症候群	1	313	1	1,549	9	1,449
	ジアルジア症	0	17	1	80	0	73
	梅毒	2	159	9	621	3	692
	破傷風	1	15	0	106	3	113
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	12	2	121	0	116
	風しん	0	41	5	89	2	148
	麻疹	0	93	1	455	7	739
新型インフルエンザ 等感染症	新型インフルエンザ(H1N1) ^(※4)	0	0	0	0	138	12,639

注：14週の全国累積報告数については、次週の滋賀県感染症情報(SIDR)に掲載します。

- ※1：感染症発生動向調査年報暫定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成23年3月)。
※2：感染症発生動向調査年報暫定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成22年3月)。
※3：全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています(国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照)。
※4：感染症法の一部改正(平成21年7月24日施行)により届出の対象となった報告数です(届出期間：平成21年7月24日～8月24日)。

2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。
また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです。
(患者報告数＝定点当たり患者数×定点数)

(1)疾病別・週別発生状況(平成23年第9週～14週、2/28～4/10)

定点区分	定 点 数	疾 患 名	定点当たり患者数(↑ 前週より増加 → 前週と同じ ↓ 前週より減少)										
			9週	10週	11週	12週	13週	14週	週				
			2/28～	3/7～	3/14～	3/21～	3/28～	4/4～	10	11	12	13	14
インフルエンザ	53	インフルエンザ	11.89	16.49	15.55	14.30	8.38	4.92	↑	↓	↓	↓	↓
小児科	32	RSウイルス感染症	0.13	0.13	0.16	0.13	0.06	0.16	→	↑	↓	↓	↑
		咽頭結膜熱(プール熱)	0.63	0.38	0.38	0.47	0.72	0.50	↓	→	↑	↑	↓
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.69	2.50	1.91	1.91	1.78	1.19	↑	↓	→	↓	↓
		感染性胃腸炎	11.22	10.69	9.41	9.19	7.72	7.31	↓	↓	↓	↓	↓
		水痘	1.63	1.78	1.38	1.28	1.53	1.72	↑	↓	↓	↑	↑
		手足口病	0.44	0.31	0.63	0.28	0.13	0.19	↓	↑	↓	↑	↑
		伝染性紅斑(リンゴ病)	0.69	1.31	0.81	0.63	1.22	0.81	↑	↓	↓	↑	↓
		突発性発しん	0.34	0.78	0.75	0.44	0.47	0.94	↑	↓	↓	↑	↑
		百日咳	0	0	0.03	0	0	0	→	↑	↓	→	→
		ヘルパンギーナ	0.44	0.31	0.47	0.09	0.19	0	↓	↑	↓	↑	↓
眼科	8	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.00	1.22	0.94	1.38	1.41	1.34	↑	↓	↑	↑	↓
		急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
基幹	7	流行性角結膜炎	0.25	0	0.13	0.38	0.13	0.13	↓	↑	↑	↓	→
		細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
		無菌性髄膜炎	0	0	0.14	0	0.14	0	→	↑	↓	↑	↓
		マイコプラズマ肺炎	0	0	0.14	0.29	0.14	0	→	↑	↑	↓	↓
基幹	7	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0.14	0	0	0	→	↑	↓	→	→

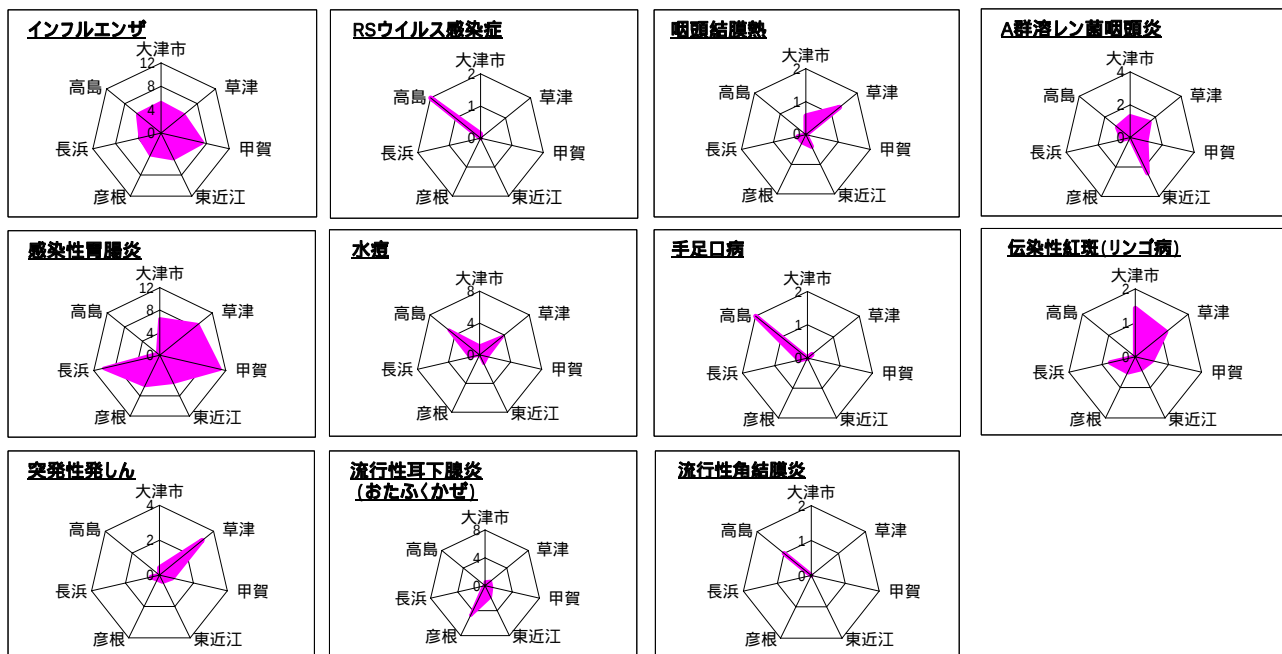
(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第14週、4/4～4/10)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県)
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	4.92	5.09	4.90	7.14	4.75	4.00	3.57	5.00	
RSウイルス感染症	0.16	0.14	0	0	0	0	0	2.00	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.50	0.57	1.33	0	0.40	0.25	0.25	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.19	1.29	1.50	1.00	2.40	0	0.50	1.00	
感染性胃腸炎	7.31	6.43	8.67	11.00	5.40	6.00	10.25	0.50	
水痘	1.72	1.14	3.67	1.00	1.20	0	1.25	5.00	
手足口病	0.19	0	0.17	0	0	0	0.25	2.00	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.81	1.43	1.17	0.50	0.40	0.50	0.75	0	
突発性発しん	0.94	0.43	3.17	0.75	0.40	0.25	0.50	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.34	0.57	1.00	1.00	1.80	4.75	0.25	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.13	0	0	0	0	0	0	1.00	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	

赤・太字 は警報発生基準値(開始基準値または終息基準値)を超えています。
青緑・太字 は注意報発生基準値を超えています。

0 2 4 6 8
定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



(3)今週の発生状況

インフルエンザ-----全ての保健所管内で、先週より減少しています。特に、甲賀では警報終息基準値未満に、高島では注意報発生基準値未満となっています。また、週別年齢群別発生割合は、下記グラフのとおりです。

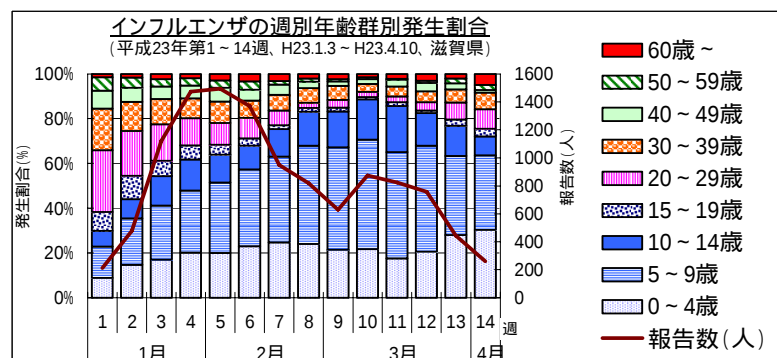
咽頭結膜熱-----草津および東近江保健所管内で、先週よりかなり減少しています。

伝染性紅斑-----甲賀および長浜保健所管内で、先週より大幅に減少しています。特に、警報発生基準値を超えていた甲賀では、警報終息基準値(定点当たり患者数1.00)未満となっています。また、大津市および草津保健所管内では、報告が多くなっています。

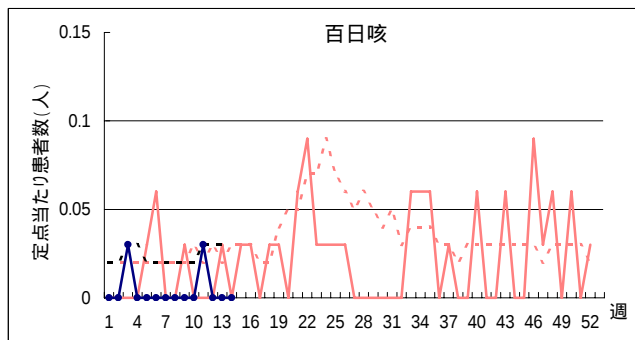
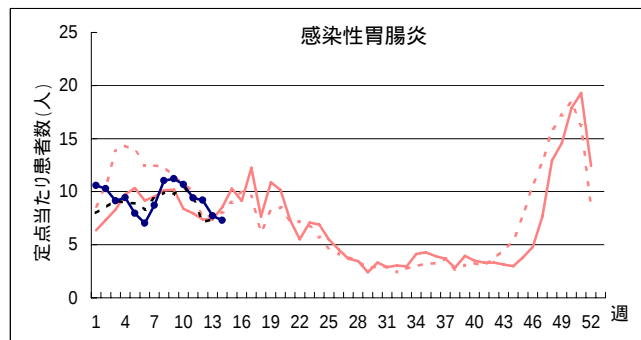
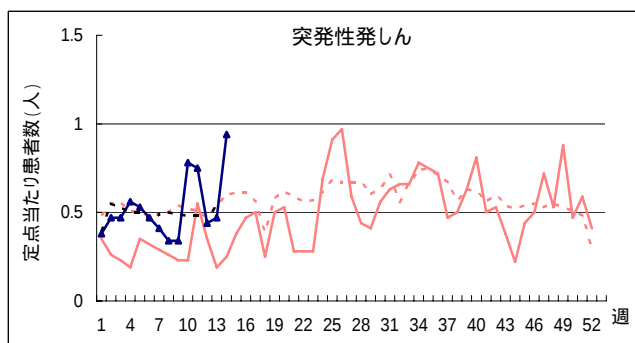
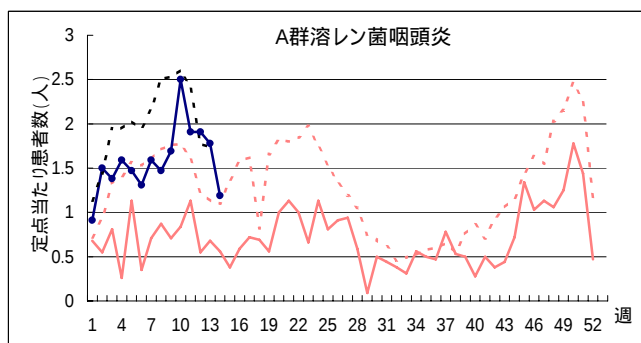
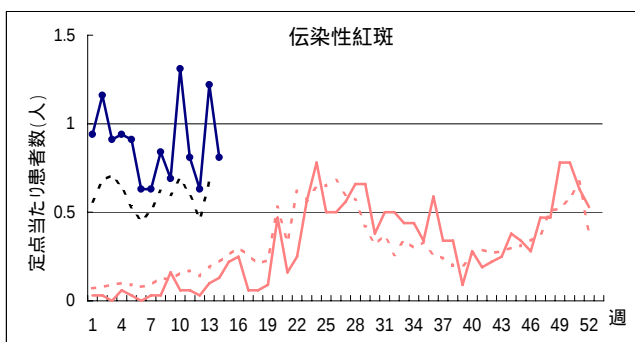
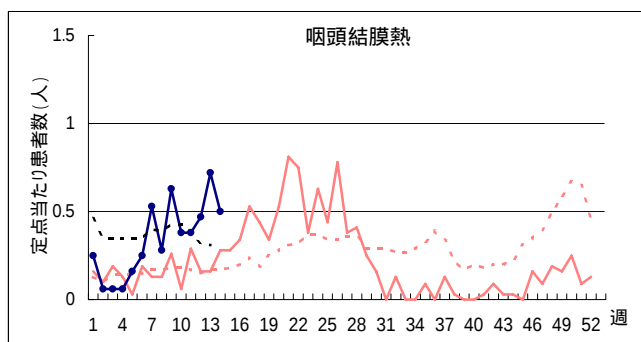
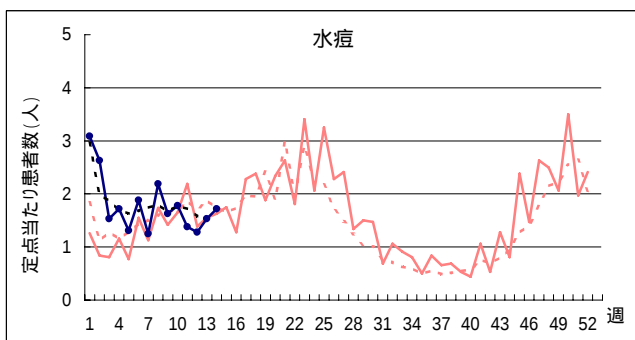
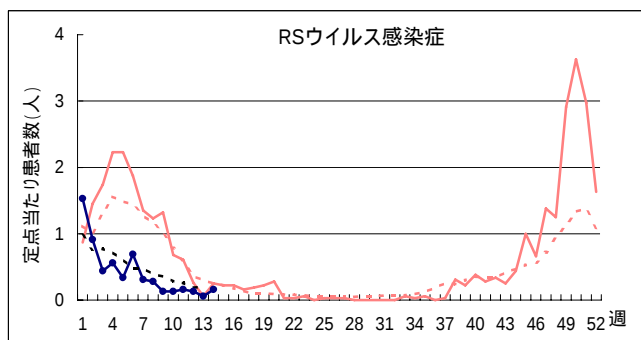
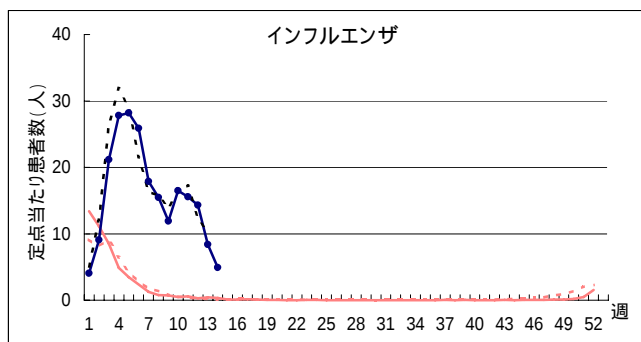
突発性発しん-----県全体では先週より倍増し、草津保健所管内で急増しています。

インフルエンザの発生状況

第14週の年齢群別発生割合を、第11週以降と比較すると、20～39歳および60歳以上でやや増加し、5～9歳および10～14歳で減少しています。



疾病別定点当たり患者数(平成23年第 1～14 週、H23.1.3～H23.4.10)



疾病別定点当たり患者数(平成23年第 1 ~ 14 週、H23.1.3 ~ H23.4.10)

